新入会のご挨拶



南川医院　永　井　進　吾

この度、平成28年４月１日に大阪市旭区今市にて、南川医院を継承開業させていただきました永井進吾と申します。

私は平成18年に名古屋市立大学を卒業し、名古屋大学医局の名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院外科に７年間勤務致しました。ここで厳しくも人間味のある上司に恵まれ医師の素養を培いました。

平成24年７月からは故郷にある徳之島徳洲会にて医療活動をスタートしました。完全な離島であり、一病院で全てを完結させるプレッシャーがありました。

まさに島民の命の最後の砦としての医療を実践していたように思います。

そして、医療の本質は外科の仕事に限らず多岐にわたるということを痛切に感じました。その際には外科としての仕事（癌・急性腹症など外科一般・帝王切開・お産）や病棟処置・麻酔の他にも、在宅医療、総合内科（高血圧・脂質代謝異常・糖尿病などの生活習慣病）の仕事もさせていただきました。都会の病院では消化器外科の仕事が中心でしたので、必然的に小児科・産婦人科・新生児科も診なければならない状況では自分の未熟さと、専門分野だけを診て満足していたという事に気づきました。とても打ち拉がれた記憶があります。

まさにプライマリケアの概念であるACCCA（近接性・責任性・継続性・協調性・包括性）が必要でした。

島での経験で、医療とは何なのかを深く考えさせられました、医は仁術という概念がやはり忘れてはいけない事だと思いました。

こういった背景もありいつかは求められる場所で、求められる医療をしたいと強く願うようになりました。

今回、大阪市旭区という都会の中でも地域医療の果たす役割が大きい地域で開業させていただきとても感謝しています。

今までは与えられた仕事を与えられた範囲の中で全力をつくしてきましたが、今後は自分の考えに基づいて、いかに地域に根ざした信頼を得られる医療を展開していけるかが重要と考えており、そのためには自身の考えを職員と共に共有しながら働き甲斐のある仕事場を作り上げていかなければならないと思っています。

今後とも旭区医師会の諸先輩方におかれましてはご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い致します。

